



3回目のトキ放鳥が行われました

第3回放鳥

環境省佐渡自然保護官事務所

11月1日から行われたトキの第3回放鳥は、新徳正明寺地区にあるトキ野生復帰ステーションの順化ケージで約3か月間訓練を行ったあと、ケージの出口を開放してトキが直接飛び立つのを待つ方法で行いました。ドジョウをまいて出口付近にトキを誘導した結果、初日に6羽、2日目に5羽、3日目に1羽、最後は6日目に1羽の合計13羽が放鳥口から飛び立って行きまし

た(ケージに残った1羽は骨折が判明し、トキ保護センターで経過観察を行っています)。

放鳥後のモニタリングでは、島内の群れと合流したり、放鳥されたトキ同士と一緒に餌を探す姿などが徐々に確認されています。今後、春と秋の年2回、20羽ずつ程度を順化ケージから放鳥していく方式を確立することを目指しています。



第2回放鳥トキと行動する放鳥トキ(左)
(11/7撮影)

トキとの共生ルール

- ①優しく静かに見守りましょう。
- ②トキに餌づけをしないようにしましょう。
- ③トキを観察するときは地域に迷惑をかけないようにしましょう。
- ④繁殖期間は、トキの巣に近づかないようにしましょう。
ただし、農林業等に從事されている方は、田んぼ等で作業中にトキが近くにいっても特別な配慮は必要ありません。

トキ目撃情報をお寄せください

順化ケージから飛翔したトキはモニタリングチームが追跡を続けていますが、放鳥直後は普段トキが見られない場所で行動することもあります。地域の方々からの目撃情報が特に重要になっていきます。トキを見かけたら佐渡市トキ交流会館へご連絡ください。

佐渡市トキ交流会館

・フリーダイヤル
0120-980-551
(受付時間 午前8時30分〜午後5時)
・FAX 24-6041
(24時間受付)
・住所 〒952-0103
佐渡市新徳潟上1101-1



世界遺産登録に向けて

鶴子銀山関係遺跡の発掘調査

佐渡市では、平成22年7月1日から、鶴子銀山代官屋敷跡の発掘調査を実施しています。

この代官屋敷跡は、天正17年(1589)に上杉景勝が銀山支配のため代官を置いたとされる場所です。江戸時代初期には廃止されましたが、佐渡奉行所の前身となる施設と考えられます。代官屋敷跡の立地を見ると、北側をのぞく三方向を沢に囲まれ、北側に港・鉾山集落と銀山を結ぶ旧道が通る要衝の地が選ばれていることがわかります。

これまでの調査によって、斜面を平坦に造成した平坦地、土坑、柱穴などのほか、陶器や磁器、フイゴの羽口、鉾津(製錬の際に出るカス)などが出土しています。なかでも調査区の北側で確認された土坑では、土坑の上に堆積していた砂礫層中から出土した鉾津を科学分析したところ、銀・銅(鉾石に含まれる貴金属)と微量の鉛(鉾石に含まれない金属)が検出されました。戦国時代は、佐渡に鉛を使った製錬技術「灰吹き法」が導入されている時期でもあり、この土坑は製錬に係る炉跡の可能性が高いと考えられます。



斜面を平坦に造成した平坦地



現地見学会

発掘調査は平成23年も引き続き行う予定です。専門家の指導や科学分析等の調査をとおり、様々な課題を明らかにしていきたいと考えています。

佐渡金銀山企画展のお知らせ

佐渡博物館(八幡)では、佐渡金銀山企画展を開催しています。

今回の展示は、「吹上海岸石切場跡」、「旧佐渡鉾山の施設群」など新たに国史跡となった文化財について紹介しています。ゴールデン佐渡所蔵の貴重な資料の数々を展示していますので、ぜひこの機会にご覧ください。

入館料

一般700円/高校生500円
/中学生400円/小学生200円